

研修支援部

大阪府における病弱教育の北の拠点校としての役割を果たすため、首席1名、リーディングスタッフ2名のほか、各部・分教室からの担当者9名でメンバーを構成して活動した。

校内活動としては、教員の資質向上をめざし、研修の計画調整を行ったうえ、その成果を実践報告集にまとめている。また、生活上に何らかの配慮を必要とする児童生徒が地域の中で安心して学び続けられるよう、校外活動として地域校や病院、各種関係機関とのネットワークの構築に努めている。

研修を通して高められた病弱教育の専門性を、リーディングスタッフ中心に校外支援に活かし、地域校との連携を視野に入れた教材教科研究、自立活動研究を進めている。

1 校内活動

(1) 新転任者研修

① 4月4日 新転任者オリエンテーション

随時、各分教室において教務、サービス、自立活動、医療連携、教科指導、児童生徒指導、保護者対応、地域連携、個別の支援計画、個別の指導計画などについての研修を実施。

(2) 教材教科研究会

① 7月21日 第1回

② 12月25日 第2回

小学部、国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、技術・家庭、外国語の10グループに分かれて実施。

(3) 全校実践交流会

① 12月25日(担当：滝井分教室)

事例発表・指導助言(関西医科大学 看護学部講師 石浦 光世 氏)

(4) 自立活動研究

① 各部・分教室において実施された自立活動実践を調査、共有。

(5) 実践報告集

① 「とねやま」第5号(令和4年度版)の発行

② 「とねやま」第6号(令和5年度版)の編集・発行(HPへの掲載、冊子発行は令和6年度)

(6) 資料整理(校外の研修参加)

① 本校に届く「研修案内」「研究紀要」の整理。

研修案内については、統合ICT内に保管されている。

【「研修案内」「研究紀要」の月別件数-2024.3.1現在】

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
研究紀要	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
研修案内	20	15	10	12	15	7	8	7	2	2	0	0

I 校務分掌

(7)各部署内研修

★:初任・転任者(部署間移動も含む)対象の研修 ☆部署全員対象の研修
表

<p>本校 ・ 訪問 教育 部</p>	<p>★筋疾患児の理解(筋ジストロフィー生徒の特徴と支援体制について) ☆救命救急講習会(心肺蘇生法、AED研修)(4/5) ☆刀根山医療センター理学療法士による介助研修(理論と実践)(4/6) ☆防犯研修(7/12) ★新転任(部内異動者)研修・訪問マニュアル☆感染症対策マニュアル ☆部内教科研修「スイガク」(随時) ☆防犯研修(6/15) ☆部内国立循環器病研究センターとの研修(8/29) ☆ボバース記念病院との研修(8/2) ☆避難・防災訓練(5/24) ☆地震避難訓練(1/17)</p>
<p>附大 属阪 病大 院学 分医 教学 室部</p>	<p>☆Webコンテンツ「QUIZIZZ」活用研修(4/20) ☆VAD(補助人工心臓)講習・実技テスト(中学部6月) ☆病気療養児の教育研修会(7/26) ☆折り染め教材研修会(2/20)</p>
<p>分大 教阪 室精 神 医 療 セ ン タ </p>	<p>★分教室歌練習、病院・入院形態、心理的巻き込まれ予防研修(4/5・6・7) ☆授業相互見学「わにウォッチ」(4/26～5/2) ☆病棟看護師によるコグトレ研修(5/8) ★病棟見学(5/10) ☆心肺蘇生法・AED研修(5/24) ☆たんぽぽ病棟スタッフとの情報交換会(6/13) ☆外部見学伝達講習(8/31・12/21) ☆わにアップ研修「わになるシート分析・インフォームドケア」(8/31) ☆巡回心理士との振り返り技法・トラブル介入法研修(9/1) ☆阪南病院分教室との交流会(9/14) ☆事例検討会(12/19) ☆巡回心理士との精神イズム研修会(3/19)</p>
<p>医関 療西 セ医 ン科 タ大 学 分総 教合 室</p>	<p>☆滝井セミナー(8/3・4) ☆摂食障害の子どもの理解について(5/19)</p>
<p>附関 属西 病医 院科 分大 教学 室</p>	<p>☆CLS(チャイルドライフスペシャリスト)研修(4/10) ☆心理的巻き込まれ予防研修(5/31) ☆日本版DN-CASについて(7/25) ☆医師による研修「急性白血病—リンパ性白血病を中心に」(10/24)</p>

I 校務分掌

2 校外活動

(1) 病弱教育の理解・啓発のための講演会等

感染症対策として参加者の制限等を行いながら、対面形式とオンライン形式を併用して実施となった。

① スポーツ交流会〔6月3日/刀根山支援学校多目的ホール〕

今年度もコロナ感染症対策のため、外部からは卒業生のみの参加となった。

② 筋疾患児・者のための相談会〔7月24日/刀根山支援学校多目的ホール〕

保護者、支援学校教員、12名参加。

③ パソコン交流会〔7月8日/刀根山支援学校多目的ホール〕

- ・本校高等部生徒と刀根山高校の生徒1名が講師を務めプログラミング教室を開催した。
- ・感染症対策として、オンラインでの参加も可能とした。

④ 第17回滝井セミナー〔8月3・4日/関西医科大学総合医療センター〕

〔8月4～31日/オンデマンド配信〕

・「発達障害への理解と対応」

関西医科大学総合医療センター 小児科医師 石崎 優子

・「起立性調節障害への理解と対応」

関西医科大学総合医療センター 小児科医師 柳本 嘉時

・「摂食障害への理解と対応」

関西医科大学総合医療センター 小児科医師 吉田 龍平

大阪府内の小学校、中学校、特別支援学校、高校教員などを中心に約400名の教育関係者が参加。

⑤ 第20回「病気療養児の教育研修会」〔7月27日(水)/大阪大学医学部附属病院〕

・講演「放射線治療および長期入院児への歯科治療について」

大阪大学大学院歯学研究科歯科放射線学講座 教授 村上 秀明

・実践報告「入院している子どもたちへの教育支援」分教室教員

(2) 広報活動

病弱教育の理解と活用を推進するため、各部・各分教室の特徴を生かしながら広報活動を行っている。

① 地域の学校対象

- ・学校案内の配布及び説明
- ・今年度の巡回教育相談、各交流会等の取り組み案内の配布とHP掲載

② 病院対象

- ・広報対象病院への説明および案内

③ 一般対象

- ・学校HPでの本校の教育活動内容の発信と各取り組みの掲載
- ・病棟掲示板や公民館等での児童生徒の作品及び活動の発信
- ・学校見学の実施

I 校務分掌

(3) 教育相談活動

① 市教委・府教育庁を通じた依頼からなる教育相談

- ・筋ジストロフィーに関する相談が 15 件あった。
- ・心臓疾患に関する相談が 1 件あった。
- ・脳腫瘍に関する相談が 1 件あった。

(4) 地域連携

① 枚方市院内学級等連絡会

地域内 5 校の担当者が、年 3 回集まり、情報交換を行っている。昨年度に引き続き、今年度は第 1 回：オンライン、第 2 回：星ヶ丘医療センター院内学級、第 3 回：市立ひらかた病院院内学級で実施し、子どもとの関係づくりや授業、教材について話し合った。また、地域内 1 校から来校頂き、大阪精神医療センター分教室での学習支援について案内、授業見学を実施した。

② 北摂院内学級担当者連絡協議会

地域内 6 校の担当者が年 7 回集まり、情報交換および教材紹介を行った。今年度は各学校会場開催 5 回、オンライン開催 2 回。各市町村の院内学級の現状や悩みの相談、おすすめの教材やアプリなどの情報交換を実施した。

(5) 大阪府支援教育地域支援整備事業に関連する活動

① 広域支援グループ（視覚・聴覚・病弱の全 9 校）での活動

広域支援校リーディングスタッフ連絡会議に参加し情報共有を行っている。視覚・聴覚・病弱支援の専門性を地域に知ってもらい、支援の土壌を広げられるよう啓発活動を協力して行っている。各校が担当ブロックを持ち、ブロック会議にて広域支援グループが行う地域支援の内容をリーフレットにして配布している。

② 広域支援グループ会議 幹事校

地域のブロック会議へ参加をした。

③ 講師派遣

依頼に応じて講師派遣を行っている。

- ・筋ジストロフィーに関する講師派遣依頼があり、多数応じた。
- ・性に関する指導に関して、支援学校中学部生徒向けの授業を実施。
- ・高槻市教育センターにて支援教育担当、養護教諭向けに講演(精神疾患と心身症のある児童生徒への支援)。
- ・枚方市小学校、高槻市中学校にて教員向けに講演(精神疾患と心身症のある児童生徒への支援)。
- ・堺市性暴力防止委員会のメンバーとして、性教育に関する指導助言。
- ・国立特別支援教育研究所主催の研修会での講演(精神疾患と心身症のある児童生徒への支援)。